

Living the Dream

「夢」の実現に向かって頑張っている方を応援します。

あなたの叶えたい夢や地域の夢などを編集部にお聞かせ下さい。選考の上、Editionに掲載させていただきます。ぜひ、あなたの「夢」を叶えるお手伝いをさせていただきます!

【応募条件】

あなたが叶えたい「夢」であること。

【夢の例】

- ・プロのダンサーを目指している。
- ・ソムリエを目指している。
- ・ママさんハレーボールで優勝したい。
- ・お祭りや地域を元気にしたい。

【応募方法】

株式会社宅配広告社のホームページより、お問い合わせフォームに必要事項を明記の上、「お問合せ内容」欄にあなたの夢、活動などをご記入下さい。採用された方、または団体にはこちらからご連絡させていただきます。



Instagram
edition_freepaper

素敵な写真が沢山見られます!



TAKE
FREE

ご自由にお持ち帰り下さい。

Edition

手のひらの幸せ

エステティシャン

伊藤 静

8



Paume ポム・ポヌール Bonheur SALON DE ESTHÉTIQUE

夢の実現に向かって頑張っている方を応援するプロジェクト「Living the Dream」企画第2回目のインタビューは、エステティシヤンの伊藤静さんです。「家事や育児等の終わりのない仕事に日々追われている女性に対し、心の底から癒される時間を提供し、日々の暮らしがより豊かになるお手伝いがしたい」。そんな揺るぎない信念を持って日々お客様と向き合う伊藤さんに、エステに対する想い、そしてこれからの夢についてお話をうかがいました。

Living the Dream

手のひらの幸せ

伊藤 静

Q、エステティシャンになろうと思ったきっかけを教えてください。

伊藤さん：2010年に地元の栃木県から東京に上京したのですが、その半年後に東日本大震災が起きました。実は両親の生まれは共に宮城県で、両方の祖父母の家が津波で流され、祖父と母の姉が亡くなってしまいました。両親の中でも母は特に落ち込んでしまい、落胆した両親の姿を見て、「生きてる私に何ができるのだろう」と強く考えさせられました。当時はコールセンターで働いていて、私が話を聞くことで少しでも励みになれたら良いなと思い、独学で心理カウンセラーの勉強をして資格を取りました。その後何年か経ったある日、母に「どうして私だけ生きられたんだろう、生きてるのが辛い」と言われたんです。「私は自分のことに精一杯でそんな母の気持ちに気付かず、一体何をしていたんだろう」とその時すごく後悔しました。「私に何が出来るんだろう」ともう一度真剣に考えた時、ふと子供の頃転んで、「痛い痛い飛びやい〜」と母に撫でてもらった手の温もりを思い出し、この先どんなに医療や機械が発達したとしても、人の心や身体の痛みを癒せるものって、手のひらから伝わる温もりによる安心感に勝るものはきっとないなと思ったんです。それで、自分の手で直接触れて人を癒せるような仕事に就きたいと思ったのが、エステティシャンを志したきっかけです。個んだり疲れている人の心や身体を少しでも癒してあげたい、というそんな想いが今の私の活力になっています。

Q、ご自身もエステで癒された経験はありますか？

伊藤さん：あります。両親のことを励ましながらもすごく疲れてしまった時期があって、気分転換に足湯を選んでのがエステと私の出会いです。その時のセラピストさんがとても素敵で、丁寧に施術してください、お話をよく聞いてくれて、施術が終わったあと心と体がふっと軽くなり、表情まで明るくなった自分にびっくりしました。「エステってこんなにすごいんだ！」と本当に感動したんです。

Q、前職と違う世界へ飛び込むことへの不安はなかったですか？

伊藤さん：もちろんありました。今更この年齢で新しい仕事を始めるなんて…ってなかなか踏み出せない自分がいました。そんな時、もう一つきっかけになる出来事が起きました。私には8歳下の弟がいるんですが、弟は宮大工になるという夢があり、県外へ修業に出るなどして目標に向かって頑張っていました。その弟が交通事故にあい、背骨を圧縮骨折してしまっただけです。一時は、もしかしたら下半身不随になるかもしれない、とまで言われました。今は幸いにも回復して日常生活は送れるようになったんですが、重い物が持たなくなってしまう、夢だった宮大工の道を諦めざるを得なくなりました。その時に、「夢があっても諦めざるを得ない人がいるのに、私は何を言っているんだ。やっぱやろう！」と一大決心しました。また、やるからには厳しい環境で磨かれないと思いついて、大手エステサロンの銀座店に就職しました。自分のお店を持つためにも、1日も早く技術や経験を身につけたかったんです。

Q、店名の由来は？

伊藤さん：フランス語でボムが「手のひら」、ボヌールが「幸せ」を意味していて、「手のひらの幸せ」という意味になります。「手のひら」は私の原点でもあるため、店名には必ず入れたいと思っていました。創業時のサロンの所在地である銀座は、美容やファッションの日本における中心でもあり、私のサロンにご来店頂いた際には、流行に調音なく手のひらの温もりを通した癒しを感じてもらいたい、という想いが込められています。

Q、サロンの特徴はどういうところですか？

伊藤さん：身体の外面・内面だけでなく、ストレスケアという心の面までサポートできるように心がけています。エステで外的的に綺麗になることは当たり前ですが、一時的に綺麗になったとしても何か根本に原因があればまた元に戻ってしまうので、それをお客様と一緒に探り、根本からの改善に導くことこそ私のエステティシャンとしての使命だと思っています。そのため、私のサロンでは画一化したメニューではなく、お客様に合わせ

てカスタマイズしたメニューを提供しています。お客様一人一人のお悩みについて、丁寧なヒアリングを行い、生活習慣の面から一緒に改善していきます。震災後、被災した両親、親戚、先ずは自分の目の前にいる人達に対して、小さな事でも良いから何かの支えになるようなことをしてあげたいと考えて心理カウンセラーの勉強をしたことも、今の仕事に活かしていると思います。心と身体は密接に繋がっているので、お身体に触れてみるとストレスフルな日常生活を送られている様子が何となく伝わるので、お客様の話によく耳を傾けてみると「実はこんな悩みがあって…」ということも多いんです。

Q、今後の展望について教えてください。

伊藤さん：今は一人でやっているのですが、ゆくゆくは私と想いを共有できるそんなスタッフを育成したいと思っています。そして、この仕事に就いた時からの目標なんですが、地元でサロンを開こうと考えています。子連れでも気軽に来れて、お母さんたちの憩いの場になるようなお店にしたいですね。エステって非日常だと思うんです。その非日常を体感することによって、心や身体をリフレッシュしてもらえたらいいなって。近年自治体の福祉事業で高齢者の方に全体のサービスのサービスがありますが、それと同じように、例えば子育てに加えて日々の仕事に走り回っているシングルマザーの方にエステを提供できないだろうかと考えています。自治体で一部補助していただいで、一人で子育てを頑張っているお母さんたちにご自身へのご褒美の時間をあげられたいいなと。お金の面だけでなく、ブライストレスな心の豊かさって大切だと思います。実はもうイメージはできていて(笑)、栃木県は産の街なので、古い蔵をリノベーションして、昼間はお母さんたちが子連れで癒えるサロン、夜は疲れたお父さんたちも立ち寄れる飲食店も提供できる空間にしたら面白いんじゃないかなって。そんな風にして、自分が生まれた土地に貢献していけたらいいなと思っています。私のサロンはまだまだ小さなお店ですが、美の探求を通じて幸せの波動がやさしく溢れて、明るく元気で豊かな社会造りに少しでも貢献できたらいいです。

プロフィール

いとう しずか

エステティシャン

Peau Bonheur (ボム・ボヌール) オーナー

1986年生まれ、栃木県出身。2011年の東日本大震災で親戚が被災する中、何もできない自分に悔みを感じる中、エステに出会う。「誰か助けてくれる人たちがこんな風に幸せな気分になれることはないか」との思いから、エステティシャンになることを決意。大手エステサロンに入社し、「全額貯蓄100店舗の中で一歩の富貴成業を築く」という目標を、わずか10ヶ月で達成。これを契機に2016年6月に株式会社ラフを設立し、2016年8月に東京銀座にて完全子育のエステサロン「Peau Bonheur (ボム・ボヌール)」をオープン。2019年5月より現在の東京府葛飾区に参画し現在に至る。お客様それぞれの「自分史上最高の瞬間」の実現をサポートし続けている。

EDITOR'S NOTE

大切な人にだけこっそりと教えたいくなるような隠れ家的なサロンです。「人を癒し笑顔にすること」だけを思い、非大抵ではない努力をしてきたのが言葉の端々から読み取れます。ちなみに伊藤さん、前職のエステサロンでは売上 No.1 という凄腕（凄手のひら!）の持ち主だったりします。内に秘めた思いが手のひらを通して伝わっている証ではないでしょうか。

STAFF

Editor and Writer 鈴木ハルカ

Photographers H.SUGI

中村一月

石村優太

Model 力丸莉帆

Paume & Bonheur
原音・音美ル
SALON DE ESTHÉTIQUE

住 所 〒104-0045 東京都中央区新富1-7-6
Dohroビル3F
営業時間 平日/12:00~21:00
土・日・祝/10:00~19:00
定休日 月曜日

ご予約・お問い合わせ
☎ 090-5554-7399



NO.8 Edition 12月号 Living the Dream 手のひらの奇蹟 伊藤 夢 2019年12月発行 発行人/佐藤大輔 発行/株式会社 宅配広告社 〒164-0013 東京都中野区高井町4-25-4 高井町高井ビルディング1F 1階 TEL.03-5328-1700 FAX.03-5328-1715 Contact / edition@takuhai.co.jp 美容師監修、撮影、装束の一部制作

宅配広告社
TAKUHAI AD CO.

Edition

ポストに投函するフリーペーパーです。

広告主募集

03-5328-1700



宅配広告社
TAKUHAI AD CO.